

鷺津 民子

Profile

1945 年生まれ。クラフト紙を束ねてつくった自作のノートに、板や段ボール、糸、写真などの様々な素材によるアッサンプラージュやコラージュ、ドローイングの手法を用いたブックアート作品を制作するほか、自身の記憶をもとした造形と展示空間が融合するような立体作品を発表。兵庫県川西市在住。

参考作品

実際の出品作品とは異なります

Washizu drawing No.12

2018 年 ミクストメディア：糸、木板、ボール紙、段ボール、トレーシング
アクリル絵具、水性ペン、パステル、オイルパステル、色鉛筆、鉛筆
47.3×41.3×26.8cm



クラフト紙による自作のノートをベースにした作品だが、閉じた状態の外見から、板の突起や紐、ドローイングがページからはみ出し、ノートの概念を大きく逸脱した外見に目が引き付けられる。紙や木、写真のほか様々な素材に描かれたドローイングと、多種多様のかたちが複雑に組み合わさることで、作者の記憶の中の光景が、この不定形のノートで立体的に表されているように思われる。